

No.					市立甲府病院 機能仕様書
Lv1	Lv2	Lv3	Lv4	Lv5	要件項目
23	1				基本機能
23	1	1			パッケージソフトウェアの適用を基本としたシステム構成であること。
23	1	1			データ保存は年数に関係なく保存できること。
23	2				電子カルテシステム/オーダリングシステムとの連携
23	2	1			組織診/細胞診に関する検査指示情報、患者属性情報を電子カルテシステムまたはオーダリングシステムから取り込めること。
23	2	2			細胞診の検査指示情報に対する到着確認を行った後はラベルが発行可能なこと。
23	2	3			バーコード読み込みによる到着確認が可能なこと。
23	2	4			組織診/細胞診に関する検査指示情報に対する到着確認及び結果情報を電子カルテシステムまたはオーダリングシステムへ送信可能なこと。
23	3				組織診
23	3	1			情報一覧
23	3	1	1		情報一覧を表示できること。
23	3	1	2		情報一覧は色により進捗状況が判別できること。
23	3	1	3		職種等により、登録・追加・変更の権限制御が可能なこと。
23	3	1	4		受付番号、患者番号、患者カナ氏名、依頼科で検索が可能であること。
23	3	2			依頼入力
23	3	2	1		依頼データの入力・訂正・削除処理が可能であること。
23	3	2	2		依頼入力は、下記の入力方法が可能であること。 a) 内視鏡を含めた依頼データ管理ができること。 b) 病理組織、内視鏡を別々の依頼データで管理ができること。
23	3	2	3		受付番号は年管理・永久通番管理のいずれかで管理ができること。
23	3	2	4		受付番号は、 ・年管理 … 毎年1月の第一営業日に1番から採番できること。
23	3	2	5		依頼データ登録及び修正後、次受付番号へ自動的に遷移できること。
23	3	2	6		患者番号入力時、 a) 属性情報を表示できること。また、登録及び訂正も可能なこと。 b) 即座に履歴情報を表示できる機能を備えること。また件数を表示できること。 c) 履歴情報の詳細内容を閲覧可能であること。
23	3	2	7		患者属性情報外部接続 いずれかの外部システム（医事システム/電子カルテシステム/オーダリングシステム/検査システム）から患者属性情報（氏名、性別、生年月日など）を自動及び手動で取り込めること。
23	3	2	8		前受付番号/次受付番号へはワンクリックで移動及び表示が可能であること。
23	3	2	9		採取部位、採取方法、特殊染色名の登録及び変更ができること。また、採取部位毎に特殊染色名を設定でき自動的に展開できること。
23	3	2	10		スキャナよりスキャンされた画像を取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。
23	3	2	11		デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなどを描画できること。
23	3	2	12		線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画が可能なこと。
23	3	2	13		システムに取り込む前の画像ファイルは、システムがストールした場合を考慮して復旧が可能なこと。
23	3	3			受付台帳
23	3	3	1		指定された受付日、受付番号、切り出し日での範囲で印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	3	3	2		受付を行った検体情報を一覧形式での表示（プレビュー）または印刷ができること。
23	3	4			切り出し入力
23	3	4	1		切出し指示情報を登録及び変更ができること。
23	3	4	2		採取部位を選択しての切り出しブロック数、ラベル枚数を登録及び変更ができること。
23	3	4	3		ラベル印字する番号や記号などが採取部位毎に、 a) テンプレート入力できること。例、マイナス（-）、アルファベット、リンパ節番号 など b) フリー入力できること。 c) 脱脂/脱灰指示ができること。 d) 枝番号（1-1 など）を開始番号と必要な枚数を入力することで自動的に展開できること。
23	3	4	4		採取部位を登録及び変更ができること。また、採取部位毎に特殊染色名を設定でき自動的に展開できること。
23	3	4	5		切り出し日の指定ができること。
23	3	4	6		検体残状況、進捗状況、切り出し時のコメント入力ができること。
23	3	4	7		採取部位の画像を取り込めること。
23	3	4	8		スキャナよりスキャンされた画像を取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。
23	3	4	9		デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなどを描画できること。
23	3	4	10		線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画が可能なこと。
23	3	4	11		システムに取り込む前の画像ファイルは、システムがストールした場合を考慮して復旧が可能なこと。
23	3	5			ラベル出力
23	3	5	1		指定された切り出し日または受付番号範囲での印刷ができること。
23	3	5	2		任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	3	5	3		印刷されたラベルの出力管理を行えること。
23	3	5	4		印刷された特殊染色ラベルの出力管理を行えること。
23	3	5	5		スライドガラスに直接印字ができること。また、スライドガラスに貼付できる標準ラベルを印字及び出力することができること。
23	3	5	6		ラベル印字を行う際に用紙の開始位置を指定できること。
23	3	5	7		フリーイメージでの印刷が可能なこと。イメージ作成時、受付情報を基にテンプレートが作成できること。
23	3	5	8		ラベル出力するための切出し指示情報またはラベル出力指示情報を登録及び変更ができること。
23	3	6			結果入力
23	3	6	1		スライドガラスまたはラベルに印字されたバーコードを読み取り、該当する受付情報を表示できること。
23	3	6	2		癌取り扱い規約及びリンパ節の定型入力が可能なこと。
23	3	6	3		既往歴が参照でき、必要に応じて詳細な内容が表示できること。
23	3	6	4		診断及び所見入力をフリー入力できること。また、定型文の引用が可能なこと。
23	3	6	5		報告書の印刷が可能なこと。電子カルテシステムまたはオーダリングシステムと連携している場合は結果送信が可能なこと。
23	3	6	6		電子ロックによる診断承認機能を有すること。
23	3	6	7		仮診断、追加診断、報告訂正機能を有すること。仮診断、追加診断、報告訂正において診断入力した内容を全て保存できること。また、追加診断、報告訂正においては9診断まで登録できること。

23	3	6	8	特殊染色指示を行えること。
23	3	6	9	特殊染色をセット登録できること。
23	3	6	10	デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み、受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなどを描画できること。
23	3	6	11	線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画が可能なこと。
23	3	6	12	システムに取り込む前の画像ファイルは、システムがストールした場合を考慮して復旧が可能なこと。
23	3	7		報告書出力
23	3	7	1	報告書を印刷できること。テキスト、画像、シエマ等について印刷が可能であること。
23	3	7	2	指定された受付日または受付番号範囲での印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	3	7	3	最終報告書出力、強制出力、再出力の指定が可能なこと。
23	3	7	4	電子カルテシステムまたはオーダリングシステムと連携している場合は結果送信が可能なこと。
23	3	8		結果台帳出力
23	3	8	1	指定された受付日または受付番号範囲での印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	3	8	2	検体情報に入力されている診断結果を一覧形式での表示（プレビュー）または印刷ができること。
23	3	9		進捗管理
23	3	9	1	指定された受付日または受付番号範囲にある検体情報の進捗が表示できること。
23	3	9	2	検体情報へ進捗の登録及び変更が可能なこと。登録及び変更は複数検体を同時に行えること。
23	3	10		特染オーター一覧
23	3	10	1	指定された受付日以前に指示されている特殊染色を一覧形式での表示（プレビュー）または印刷ができること。
23	4			細胞診
23	4	1		情報一覧
23	4	1	1	情報一覧を表示できること。
23	4	1	2	情報一覧は色により進捗状況が判別できること。
23	4	1	3	職種等により、登録・追加・変更の権限制御が可能なこと。
23	4	1	4	受付番号、患者番号、患者カナ氏名、依頼科で検索が可能であること。
23	4	2		依頼入力
23	4	2	1	依頼データの入力・訂正・削除処理が可能であること。
23	4	2	2	依頼入力は、下記の入力方法が可能であること。 a) 一般、婦人科を含めた依頼データ管理ができること。 b) 一般、婦人科を別々の依頼データで管理ができること。
23	4	2	3	受付番号は年管理・永通番管理のいずれかで管理ができること。
23	4	2	4	受付番号は、 ・年管理 … 毎年1月の第一営業日に1番から採番できること。 ・永通番管理 … 永続的な番号で1番から採番できること。
23	4	2	5	依頼データ登録及び修正後、次受付番号へ自動的に遷移できること。
23	4	2	6	患者番号入力時、 a) 属性情報を表示できること。また、登録及び訂正も可能なこと。 b) 即座に履歴情報を表示できる機能を備えること。また件数を表示できること。 c) 履歴情報の詳細内容を閲覧可能であること。
23	4	2	7	患者属性情報外部接続 いずれかの外部システム（医事システム/電子カルテシステム/オーダリングシステム/検査システム）から患者属性情報（氏名、性別、生年月日など）を自動及び手動で取り込めること。
23	4	2	8	前受付番号/次受付番号へはフックで移動及び表示が可能であること。
23	4	2	9	採取部位、採取方法、特殊染色名の登録及び変更ができること。また、採取部位毎に特殊染色名を設定でき自動的に展開できること。
23	4	2	10	スキャナよりスキャンされた画像を取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。
23	4	2	11	デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなどを描画できること。
23	4	2	12	線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画が可能なこと。
23	4	2	13	システムに取り込む前の画像ファイルは、システムがストールした場合を考慮して復旧が可能なこと。
23	4	3		受付台帳
23	4	3	1	指定された受付日、受付番号、切り出し日での範囲で印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	4	3	2	受付を行った検体情報を一覧形式での表示（プレビュー）または印刷ができること。
23	4	4		ラベル出力
23	4	4	1	指定された切り出し日または受付番号範囲での印刷ができること。
23	4	4	2	任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	4	4	3	印刷されたラベルの出力管理を行えること。
23	4	4	4	印刷された特殊染色ラベルの出力管理を行えること。
23	4	4	5	スライドガラスに直接印字ができること。また、スライドガラスに貼付できる標準ラベルを印字及び出力することができること。
23	4	4	6	ラベル印字を行う際に用紙の開始位置を指定できること。
23	4	4	7	フリーイメージでの印刷が可能なこと。イメージ作成時、受付情報を基にテンプレートが作成できること。
23	4	4	8	ラベル出力するための切出し指示情報またはラベル出力指示情報を登録及び変更ができること。
23	4	5		結果入力
23	4	5	1	スライドガラスまたはラベルに印字されたバーコードを読み取り、該当する受付情報を表示できること。
23	4	5	2	既往歴が参照でき、必要に応じて詳細な内容が表示できること。
23	4	5	3	診断及び所見入力をフリー入力できること。また、定型文の引用が可能なこと。
23	4	5	4	細胞検査士の場合は検鏡枚数を入力できること。細胞検査士毎に検鏡枚数の集計を行えること。
23	4	5	5	検体の適用及び不適用のチェックができ、不適用の場合は理由を入力できること。
23	4	5	6	細胞検査士毎にベセスダ（クラス）分類、判定（Negative等）、判定区分（良性、悪性等）、出現細胞の入力を行えること。
23	4	5	7	結果が異常の場合には指導医からのベセスダ（クラス）分類、判定（Negative等）、判定区分（良性、悪性等）、出現細胞の入力を行えること。
23	4	5	8	細胞検査士が結果入力している場合は、他の細胞検査士が入力した結果を閲覧可能なこと。 指導医が結果入力している場合は、全ての細胞検査士が入力した結果を閲覧可能なこと。
23	4	5	9	報告書の印刷が可能なこと。電子カルテシステムまたはオーダリングシステムと連携している場合は結果送信が可能なこと。
23	4	5	10	電子ロックによる診断承認機能を有すること。
23	4	5	11	仮診断、追加診断、報告訂正機能を有すること。仮診断、追加診断、報告訂正において診断入力した内容を全て保存できること。また、追加診断、報告訂正においては9診断まで登録できること。
23	4	5	12	特殊染色指示を行えること。
23	4	5	13	特殊染色をセット登録できること。
23	4	5	14	デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み、受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなどを描画できること。

23	4	5	15	線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画が可能なこと。
23	4	5	16	システムに取り込む前の画像ファイルは、システムがストールした場合を考慮して復旧が可能なこと。
23	4	6		報告書出力
23	4	6	1	報告書を印刷できること。テキスト、画像、シエマ等について印刷が可能であること。
23	4	6	2	指定された受付日または受付番号範囲での印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	4	6	3	最終報告書出力、強制出力、再出力の指定が可能なこと。
23	4	6	4	電子カルテシステムまたはオーダリングシステムと連携している場合は結果送信が可能なこと。
23	4	7		結果台帳出力
23	4	7	1	指定された受付日または受付番号範囲での印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	4	7	2	検体情報に入力されている診断結果を一覧形式での表示（プレビュー）または印刷ができること。
23	4	8		進捗管理
23	4	8	1	指定された受付日または受付番号範囲にある検体情報の進捗が表示できること。
23	4	8	2	検体情報へ進捗の登録及び変更が可能なこと。登録及び変更は複数検体を同時に行えること。
23	5			剖検
23	5	1		情報一覧
23	5	1	1	情報一覧を表示できること。
23	5	1	2	情報一覧は色により進捗状況が判別できること。
23	5	1	3	職種等により、登録・追加・変更の権限制御が可能なこと。
23	5	1	4	受付番号、患者番号、患者カナ氏名、依頼科で検索が可能であること。
23	5	2		依頼入力
23	5	2	1	依頼データの入力・訂正・削除処理が可能であること。
23	5	2	2	受付番号は年管理・永通番管理のいずれかで管理ができること。
23	5	2	3	受付番号は、 ・年管理 … 毎年1月の第一営業日に1番から採番できること。 ・永通番管理 … 永続的な番号で1番から採番できること。
23	5	2	4	依頼データ登録及び修正後、次受付番号へ自動的に遷移できること。
23	5	2	5	患者番号入力時、 a) 属性情報を表示できること。また、登録及び訂正も可能なこと。 b) 即座に履歴情報を表示できる機能を備えること。また件数を表示できること。 c) 履歴情報の詳細内容を閲覧可能であること。
23	5	2	6	患者属性情報外部接続 いずれかの外部システム（医事システム/電子カルテシステム/オーダリングシステム/検査システム）から患者属性情報（氏名、性別、生年月日など）を自動及び手動で取り込めること。
23	5	2	7	前受付番号/次受付番号へはフックで移動及び表示が可能であること。
23	5	2	8	採取部位、採取方法、特殊染色名の登録及び変更ができること。また、採取部位毎に特殊染色名を設定でき自動的に展開できること。
23	5	2	9	スキャナよりスキャンされた画像を取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。
23	5	2	10	デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなどを描画できること。
23	5	2	11	線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画が可能なこと。
23	5	2	12	解剖種類/被検者情報/臓器重量などといった剖検に関する項目入力ができること。
23	5	2	13	システムに取り込む前の画像ファイルは、システムがストールした場合を考慮して復旧が可能なこと。
23	5	3		受付台帳
23	5	3	1	指定された受付日、受付番号、切り出し日での範囲で印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	5	3	2	受付を行った検体情報を一覧形式での表示（プレビュー）または印刷ができること。
23	5	4		切り出し入力
23	5	4	1	切り出し指示情報を登録及び変更ができること。
23	5	4	2	採取部位を選択しての切り出しブロック数、ラベル枚数を登録及び変更ができること。
23	5	4	3	ラベル印字する番号や記号などが採取部位毎に、 a) テンプレート入力できること。例、マイナス（-）、アルファベット、リンパ節番号 など b) フリー入力できること。 c) 脱脂/脱灰指示ができること。 d) 枝番号（1-1 など）を開始番号と必要な枚数を入力することで自動的に展開できること。
23	5	4	4	採取部位を登録及び変更ができること。また、採取部位毎に特殊染色名を設定でき自動的に展開できること。
23	5	4	5	切り出し日の指定ができること。
23	5	4	6	検体残状況、進捗状況、切り出し時のコメント入力ができること。
23	5	4	7	採取部位の画像を取り込めること。
23	5	4	8	スキャナよりスキャンされた画像を取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。
23	5	4	9	デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなどを描画できること。
23	5	4	10	線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画が可能なこと。
23	5	4	11	システムに取り込む前の画像ファイルは、システムがストールした場合を考慮して復旧が可能なこと。
23	5	5		ラベル出力
23	5	5	1	指定された切り出し日または受付番号範囲での印刷ができること。
23	5	5	2	任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	5	5	3	印刷されたラベルの出力管理を行えること。
23	5	5	4	印刷された特殊染色ラベルの出力管理を行えること。
23	5	5	5	スライドガラスに直接印字ができること。また、スライドガラスに貼付できる標本ラベルを印字及び出力することができること。
23	5	5	6	ラベル印字を行う際に用紙の開始位置を指定できること。
23	5	5	7	フリーイメージでの印刷が可能なこと。イメージ作成時、受付情報を基にテンプレートが作成できること。
23	5	5	8	ラベル出力するための切り出し指示情報またはラベル出力指示情報を登録及び変更ができること。
23	5	6		結果入力
23	5	6	1	スライドガラスまたはラベルに印字されたバーコードを読み取り、該当する受付情報を表示できること。
23	5	6	2	癌取り扱い規約及びリンパ節の定型入力が可能なこと。
23	5	6	3	既往歴が参照でき、必要に応じて詳細な内容が表示できること。
23	5	6	4	診断及び所見入力をフリー入力できること。また、定型文の引用が可能なこと。
23	5	6	5	報告書の印刷が可能なこと。電子カルテシステムまたはオーダリングシステムと連携している場合は結果送信が可能なこと。
23	5	6	6	電子ロックによる診断承認機能を有すること。
23	5	6	7	仮診断、追加診断、報告訂正機能を有すること。仮診断、追加診断、報告訂正において診断入力した内容を全て保存できること。また、追加診断、報告訂正においては9診断まで登録できること。

23	5	6	8	特殊染色指示を行えること。
23	5	6	9	特殊染色をセット登録できること。
23	5	6	10	デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み、受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなどを描画できること。
23	5	6	11	線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画が可能なこと。
23	5	6	12	解剖種類/被検者情報/臓器重量などといった剖検に関する項目入力ができること。
23	5	6	13	システムに取り込む前の画像ファイルは、システムがストールした場合を考慮して復旧が可能なこと。
23	5	7		報告書出力
23	5	7	1	報告書を印刷できること。テキスト、画像、シェーマ等について印刷が可能であること。
23	5	7	2	指定された受付日または受付番号範囲での印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	5	7	3	最終報告書出力、強制出力、再出力の指定が可能なこと。
23	5	8		結果台帳出力
23	5	8	1	指定された受付日または受付番号範囲での印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷が可能なこと。
23	5	8	2	検体情報に入力されている診断結果を一覧形式での表示（プレビュー）または印刷ができること。
23	5	9		進捗管理
23	5	9	1	指定された受付日または受付番号範囲にある検体情報の進捗が表示できること。
23	5	9	2	検体情報へ進捗の登録及び変更が可能なこと。登録及び変更は複数検体を同時に行えること。
23	6			既往歴検索
23	6	1		指定された患者番号の既往歴検索ができること。また患者カナ氏名で検索し患者の絞り込みができること。
23	6	2		検索された結果を一覧形式での表示または印刷ができること。また一覧から選択された検体情報の詳細内容を開覧可能なこと。
23	6	3		検索結果がCSV形式で出力可能なこと。
23	7			症例検索
23	7	1		受付日の範囲を指定して任意の条件で検索可能なこと。
23	7	2		任意（複数可）の条件で検索可能なこと。 （依頼元、診断医、検査項目、採取部位、採取法、種類、良悪、クラス、判定、診断コード、診断フリー、内外区分、総合所見、7-30分、年齢 など）
23	7	3		検索条件は各指定項目内でAND、OR等の複数条件の指定が可能なこと。
23	7	4		検索結果より、さらなる絞り込み検索が可能なこと。また、絞り込み検索を行う前の検索結果もワンクリックで表示可能なこと。
23	7	5		検索された結果を一覧形式での表示または印刷ができること。また一覧から選択された検体情報の詳細内容を開覧可能なこと。
23	7	6		検索結果がCSV形式で出力可能なこと。
23	8			貸し出し管理
23	8	1		以下の項目を入力し標本の貸し出し管理が行えること。 （依頼元、受付番号、患者番号、患者カナ氏名、患者漢字氏名、受付日、貸出日、返却予定日、貸出先、コメント）
23	8	2		未返却標本の検索、貸し出し状況表示ができること。
23	8	3		貸し出した標本の返却入力ができること。
23	8	4		申込者、受付番号で検索ができること。
23	9			統計
23	9	1		組織診
23	9	1	1	依頼元別件数統計が行えること。
23	9	1	2	部位別件数統計が行えること。
23	9	1	3	検査項目別件数統計が行えること。
23	9	1	4	臓器数別件数統計が行えること。
23	9	1	5	特染項目別件数統計が行えること。
23	9	2		細胞診
23	9	2	1	依頼元別件数統計が行えること。
23	9	2	2	部位別件数統計が行えること。
23	9	2	3	検査項目別件数統計が行えること。
23	9	2	4	クラス別件数統計が行えること。
23	9	2	5	特染項目別件数統計が行えること。
23	9	2	6	判定別件数統計が行えること。
23	9	2	7	部位別検鏡数統計が行えること。
23	9	2	8	CT別検鏡数統計が行えること。
23	9	2	9	指導医/CT判定結果一致率が行えること。
23	9	2	10	細胞診断による組織診断の追跡調査が行えること。
23	9	3		統計結果
23	9	3	1	統計データはCSV形式で出力可能なこと。
23	9	4		追加会計一覧
23	9	4	1	組織診及び細胞診の追加会計一覧を出力できること。
23	9	4	2	追加会計一覧は日別で患者別に出力できること。
23	10			サポート
23	10	1		各種マスタは容易に画面から登録・修正・削除できること。
23	10	2		保存されているデータのバックアップができること。
23	11			その他要件
23	11	1		遺伝子検査業務が組織診・細胞診とは別管理できること。
23	11	2		切出し入力処理で、包埋用カセット印字ができること。
23	11	3		薄切時、包埋用カセットのバーコードを読むことで、該当するガラスおよびプレパラートラベルが印字されること。
23	11	4		診断入力された診断文を自動判別し完全自動コード化（SNOMED準拠）できること。
23	11	5		診断入力された診断文をICD-O-3形態コードに自動コード化できること。
23	11	6		診断入力時、登録画像を4種以上選択して、PowerPointに展開・編集登録・管理が可能なこと。
23	11	7		診断本登録時の反映までの時間設定が可能なこと。
23	11	8		組織診断、所見の文字装飾（色など）が可能であること。
23	11	9		組織診断登録時に、受付臓器名と診断内容の英文臓器の相違がチェックでき、相違があればアラートが出力されること。
23	11	10		細胞診の判定（ベセスダ含む）・細胞学的診断・所見・付記所見が入力できること。
23	11	11		細胞診登録時に、判定と細胞診断の英文内容に大きな相違がある場合、アラートが出力されること。
23	11	12		病理検査システム又は電子カルテシステムで病理レポートの既読確認機能を有すること。（報告書体制管理加算への対応）
23	11	13		電子カルテで臨床医に確認されたレポートは、病理システムに情報返信され、病理システムで管理できること。
23	11	14		精度管理（細胞診における組織診との部位別精度比較表がEXCEL等）に出力可能なこと
23	11	15		細胞診の認定施設帳票（組織診との相関・内部精度管理・作業負荷管理・指導医陰性件数・細胞診断に関する統計）が出力できること。
23	11	16		組織診・細胞診の結果入力時にフリーコメント（報告書には出力されない）の入力ができること。また、その内容を検索できること。
23	11	17		スペルチェック機能を有していること

23	11	18		細胞診のセルブロック法によるものが会計できること
----	----	----	--	--------------------------